

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間2022年度(2022年6月～2023年5月)



三井楽（みみらくのしま）が国の名勝に！



発行日:2024 年 4 月 10日

株式会社 石原組

目 次

1	組織の概要	1
2	対象範囲	1
3	環境経営方針	2
4	環境経営目標	3
5	環境経営計画	3
6	実施体制	4
7	環境経営目標の実績・取組結果とその評価	5
8	環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
9	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反の有無	8
10	代表者による全体評価と見直し・指示	9
11	社会貢献活動	10

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 石原組
代表取締役 石原 吉衛

(2) 所在地

本社: 〒850-0033 長崎県長崎市万才町1-1
五島支店: 〒853-0601 長崎県五島市三井楽町浜ノ畔967-1
東北支店: 〒986-0853 宮城県石巻市門脇字二番谷地13番地348
(R5.7.31閉鎖) ティンカーベルD棟1号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 石原 智恵美 TEL:0959-84-3028
FAX:0959-84-2856
E-mail:ishiharagumi@fine.ocn.ne.jp

(4) 事業内容

長崎県 許可(特-5)第 14725号 許可の有効期限 令和5年7月20日～令和10年7月19日	土木工事業 とび・土工工事業 舗装工事業 塗装工事業 造園工事業 鋼構造物工事業	建築工事業 管工事業 しゅんせつ工事業 防水工事業 水道施設工事業 解体工事業
--	---	--

(5) 事業の規模

設立 昭和42年3月10日
資本金 2,000万円
事業年度 毎年6月～翌年5月

	単 位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売 上 高	百 万 円	766	907	795	795
従 業 員	人	15	15	15	15
延べ床面積	m ²	206,52	206,52	206,52	206,52

2. 対象範囲

(1) 認証・登録の対象範囲・活動

登録事業者名:株式会社 石原組

対象事業所	本社	: 〒850-0033長崎県長崎市万才町1-1
	五島支店	: 〒853-0601 長崎県五島市三井楽町濱ノ畔967-1
	東北支店	: 〒986-0853 宮城県石巻市門脇字二番谷地13番地348 (R5年7月31日閉鎖) ティンカーベルD棟1号
活動の範囲	全組織・全活動	

(2) レポートの対象期間及び発行日:表紙に記載

3. 環境経営方針

<基本理念>

株式会社 石原組は、限りあるエネルギー資源を大切に使うとともに、ますます深刻化する地球温暖化対策の推進に、全社一丸となり自主的・積極的に取り組み、循環型社会の実現に貢献いたします。

<基本方針>

1. 次の事項について環境問題・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ・ 電力使用量の削減
 - ・ 自動車燃料(化石燃料)使用量の削減
- ② 水道使用量の削減
 - ・ 水道水(節水)
- ③ 社会貢献
 - ・ 地域での環境活動への積極的な参加
- ④ 廃棄物の削減及び再資源化の推進
 - ・ 一般廃棄物
 - ・ 産業廃棄物
- ⑤ 自社の製品に関する環境配慮

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ公表します。

4. 従業員への周知について、徹底する。

制定日：平成22年11月1日

改定日：2018年6月1日

株式会社 石原組

代表取締役 石原 吉衛

4.環境経営目標(2021年度～2023年度)

- ・ 今後の3か年間の中期目標を以下のように設定しました。
- ・ 活動開始時から事業環境も変化しており、2020年度実績値を新たな基準値としています。

項 目	単位	基準値	中期目標(事業年度:毎年6月～翌年5月)			
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
1. 全社二酸化炭素排出量の削減	削減率		△1%	△2%	△3%	
購入電力使用量の削減	kWh	34,128	33,787	33,445	33,104	
	kg-CO ₂	17,484	17,309	17,134	16,959	
化石燃料使用量の削減※(注1)	L	19,083	18,892	18,701	18,511	
	kg-CO ₂	44,323	43,879	43,437	42,993	
合 計 ※(注2)	kg-CO ₂	61,874	61,188	60,571	59,953	
2. 産業廃棄物排出量の削減 (総量)	削減率		△1%	△2%	△3%	
	ton	1,029	1,019	1,008	998	
3. 総排水量の削減	削減率		△1%	△2%	△3%	
	m ³	73	72	72	71	
4. 自社の製品・サービスに関する環境配慮 ・建設工事における環境にやさしい資材の調達・提案		2件	2件	2件	2件	
5. 社会貢献の推進	参加回数全社	8回	現状を維持する。			

※(注1)ガソリン、灯油の使用量である。

※(注2)全社二酸化炭素排出量合計は電力・化石燃料の他、灯油、LPGを含みます。

※購入電力の二酸化炭素調整後排出係数は、2020年度の九州電力:0.479 kg-CO₂/kWh、

2020年度の東北電力:0.457 kg-CO₂/kWhを使用。

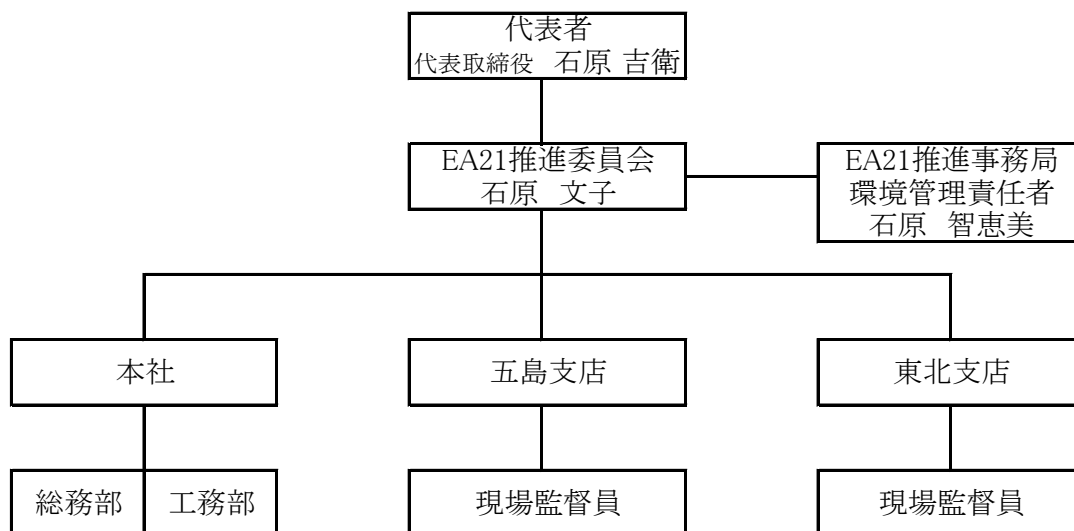
5.環境経営計画(2021年度～2023年度)

環境経営目標	活動内容	責任者
1. 二酸化炭素排出量の削減		
購入電力使用量の削減	・冷暖房の控えめな使用 (冷房26℃ 暖房22℃) ・休憩時はエアコン・照明を消し、 パソコンの電源をOFFにする ・トイレの換気扇は必要な時のみつける	(事) 環境管理責任者 (現) 現場代理人
	エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・無駄な荷物は載せない	現場代理人
2. 産業廃棄物排出量の削減	・分別の徹底	現場代理人
3. 総排水量の削減	①日々、節水を意識する ②蛇口はきちんと閉める	(事) 環境管理責任者 (現) 現場代理人
4. 自社製品・サービスに関する環境配慮	・環境にやさしい資材のWEBで調査する ・客先の承認を得る ・現場施工状況の確認	工務部
5. 社会貢献の推進	・地域清掃活動の推進	工務部

6.実施体制

株式会社 石原組

環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

役職	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境経営レポートの承認。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境経営レポートの確認。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境経営方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

7. 環境経営目標の実績・取組結果とその評価

《次年度の環境経営目標は「5,環境経営目標」及び環境経営計画は

「6,環境経営計画」に記載》

2020年度の環境経営目標の実績・取組の結果とその評価は以下になりました。

事業年度: 毎年6月～翌年5月

項 目	単位	基準値	2022年度		取組結果	
		2020年度	年間目標	実績	達成率%	評価
1. 全社二酸化炭素排出量の削減	削減率		△2%			
購入電力使用量の削減	kWh	34,128	33,445	27,314	122.4%	☆
	kg-CO ₂	17,484	17,134	12,671		
化石燃料使用量の削減※ (注1)	L	19,083	18,701	17,391	107.5%	◎
	kg-CO ₂	44,323	43,437	41,684		
* 合 計※(注2)	kg-CO ₂	61,874	60,571	54,355	111.4%	☆
2. 産業廃棄物排出量の削減(総量)	削減率		△2%			○
	ton	1,029	1,008	1,041	96.8%	
3. 総排水量の削減	削減率		△2%			×
	m ³	73	72	110	65.5%	
4. 自社製品・サービスに関する環境配慮 (建設工事における環境にやさしい資材の調達・提案)		2件	2	2	100.0%	◎
5. 社会貢献の推進	延べ 参加人員	8回	8回	8	100.0%	◎

※(注1)ガソリン、灯油の使用量である。

※(注2)全社二酸化炭素排出量合計は電力・化石燃料の他、灯油、LPGを含みます。

※購入電力の二酸化炭素調整後排出係数は、2020年度の九州電力:0.479kg-CO₂/kWh、

2020年度の東北電力:0.457 kg-CO₂/kWhを使用。

* 削減の達成率(%) = 目標 / 実績

改善の達成率(%) = 実績 / 目標

※※ 判定の管理幅					
達成率(%)			判 定		
110以上	～		☆	適 合	
100以上	～	110未満	◎		
95以上	～	100未満	○		
90以上	～	95未満	▲		
80以上	～	90未満	●	不適合	
	～	80未満	×		

《取組結果とその評価》

1. 全社二酸化炭素排出量の削減

・全社の二酸化炭素排出量の目標達成率は111.4%で達成できました。その主な原因は化石燃料消費量が大幅に減少したことです。購入電力使用量も目標を達成出来ました。

1) 購入電力使用量の削減

購入電力使用量は全社トータルで目標を達成できました。東北の現場は一箇所になり 1年間で完工しました。使用時以外はパソコンの電源オフ等による省エネ、節電意識の向上が顕著に表れたものと思われます。今後も全社で節電に取り組んでいきます。

2) 化石燃料使用量の削減

東北での工事は、一箇所になり、化石燃料は大幅に削減されました。
また長崎地区の工事はスムーズな段取りにより、ほぼ計画通り完工できたことも目標達成の要因です。

2. 産業廃棄物排出量削減

今年度は、水道工事がなく、コンクリート塊・アスファルト塊等の排出量が減少し大幅に目標は達成できました。廃棄物の分別・再資源化に努めほぼ全量を再資源化しています。工事量、工事内容により変化します。

3. 総排水量の削減

目標は達成できませんでした。各サイトで日頃から節水に取り組んでいきます。

4. 自社製品・サービスに関する環境配慮 : 目標は達成できました。

東北支店の工事で、機械の倒壊を防ぐ為に、地盤改良材ユースタビラースパーを採用した。
結果的に良好でした。今後も積極的に情報収集しながら提案して行きます。

※ユースタビラースパー: 発塵防止固化剤で、施工時に固化材の飛散および粉塵の発生を防ぎ、
周辺環境や現場労働環境の保全にも 役立ちます。

5. 社会貢献の推進 : 目標未達成 (12, 社会貢献活動の写真参照)

各サイト共、清掃の回数は8回実施しました(例年と同じ回数)。参加人員はその時の工事の状況により左右されます
なるべく回数を増やしたいと思います。

8.環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取り組み計画と活動項目	結果の評価	次年度の取組
電力の削減 ・冷暖房の控えめな使用 (冷房 26℃ 暖房 22℃) ・休憩時はエアコン・照明を消し、パソコンの電源をOFFにする ・トイレの換気扇は必要な時のみつける。	エアコンの設定温度は、守っています。上着の脱ぎ着で調整しています。 エアコンの設定温度、パソコンの電源、換気扇のスイッチは、守ることが出来るようになってきました。	・冷暖房の控えめな使用 (冷房 26℃ 暖房 22℃) ・休憩時はエアコン・照明を消し、パソコンの電源をOFFにする ・トイレの換気扇は必要な時のみつける。
化石燃料使用量の削減 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・無駄な荷物は載せない	エコドライブについては定着しつつある。制限速度を守るように心がけています。窓を開けたりして、冷房を控えています。重機のアイドリングストップも定着しつつあります。	エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・無駄な荷物は載せない
一般廃棄物の削減 ・分別ボックスの設置 ・裏紙使用 ・古紙のリサイクル化	ゴミの分別が徹底されるようになった。 裏紙はノートの代わりに使用している。	・分別ボックスの設置 ・裏紙使用 ・古紙のリサイクル化
産業廃棄物の削減 ・分別の徹底	分別、再資源化に努めている。	・分別の徹底
総排水量の削減 ・日々、節水を意識する ・蛇口はきちんと閉める	日々の節水が出来るようになった。	・日々、節水を意識する ・蛇口はきちんと閉める
自社の製品に関する環境配慮	機械の倒壊を防ぐ為に、ユースタビラースーパーを地盤改良材として採用した。結果良好	WEBで環境に有用な資材の調査を進める。業界の情報を積極的に収集する。
社会貢献の推進 ・清掃活動	今回は、全社で8回のボランティア(清掃活動)を行いました。	・引き続き清掃活動を実施する

9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

(1) 対象となる主な環境関連法規等リスト

法令の名称	法令等の遵守すべき内容	対応策	遵守状況
建設業法 (土木・建築)	建築業において資質の向上、工事の請負契約の適正化等を図ることによって、適正な施工を確保し、なおかつ公共の福祉の増進に寄与する。	建設業法に応じた運用	良
騒音規制法 第14条	建設工事で発生する騒音について必要な規制を行うとともに自動車騒音についての許容制度を定めている。	早朝夜間作業の自粛	良
振動規制法 第14条	建設工事で発生する相当範囲にわたる振動について必要な規制を行うことと、道路交通振動に関係する要請の措置を定めている。	低騒音低振動機械等の使用、規制値遵守	良
産業廃棄物法 第12条の3 第12条	廃棄物の排出を抑制し、廃棄物の適正な処理な処理を行う。(H23.4.1施工の改正廃棄物処理法にも対応する。	マニフェストの管理 委託契約書の締結	良
再生資源利用 促進法	資源の有効な利用の確保を図るとともに、廃棄物の発生の抑制及び環境の保全に資するため、再生資源の利用の促進に関する所要	リサイクル法に応じた 運用 グリーン購入	良
労働安全衛生法 第59条 則43.44	責任体制の明確化をはじめ、職場の労働者の安全と健康の確保と快適職場環境の形成を促進する。	危険防止措置及労働 災害防止	良
長崎県環境基本 条例 第8条4項 第16条	第 8条4項 環境への負荷への低減 第16条 資源の循環利用・廃棄物の減量	長崎県環境基本条例 に応じた運用	良

(2) 違反、訴訟等

法規等の遵守状況のチェックの結果、上記の通り環境関連法規等への違反はありません。
また、関係当局による違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去3年間ありません。

2024年4月3日
環境管理責任者
石原 智恵美

10、代表者による全体評価と見直し・指示

エコアクション21の取り組みを始めて早いもので13年目を迎えました。

当社では、毎日始業前に体温計測、聞き取りによる体調管理確認を行います。

その後全体朝礼及びラジオ体操で、各人の動作も目視し、その日の全員の体調管理を確認しています。

これからは、夏に向けて気温が上昇していきますので、熱中症には、十分気を付けてこまめな水分補給を欠かさぬよう指導していきます。

東北に支店を設けて12年が過ぎ、復興も落ち着き令和5年7月31日閉鎖いたしました。

無我夢中に突き進んできて 達成感がありました。

これからの建設業を取り巻く流れを直視しながら 邁進してまいります。

現場では、各人が不安全行動なく 有資格者を置き 呼びかけ呼称を常に行い安全に努めてまいります。

今後も、省エネルギー省資源化に取り組んで行きたいと思います。

今後も受注競争に勝つため、一層の技術力向上と優秀な人材の確保に努めてまいります。

来期は、施工の合理化、人材確保と諸経費のコストダウンを目標として

全社員総力を結集して努力する所存です。

社会貢献活動は全社で年8回の清掃活動を実施しました。今後も活動を継続します。

2024年4月3日

株式会社 石原組

代表取締役 石原 吉衛

11, 社会貢献活動

○清掃活動(ボランティア)の実施。:本社



社会貢献の実施状況
令和5年3月2日ボランティア活動の様子。道路清掃を実施..年4回実施しており、今回で15年目

